

木曜日は『カンガルー』『よちよちらんど』

「カンガルー」「よちよちらんど」を知っていますか。0歳から未就園児の親子が集まり、コミセン湘南「子どもの家わくわくらんど」で幼児たちは遊び、ママ同士がおしゃべりするサロン。毎週木曜日、午前中開いています。気軽にお寄りください

安心安全、子どもノビノビ

湘南地区に設立して8年目の「子育てサロンカンガルー」が、わくわくらんどで活動を始めたのは2012年4月から。「まだ公園に行けない小さな子を安心して遊ばせる場所、幼稚園に行く前の親子が外で楽しく過ごせるスペースを作りたかった」とカンガルー代表の友山智子さん。回を重ねるごとに参加者が増えた。人見知りする子どももみんなと一緒に遊ぶ喜びを発見、母親の間には「ママ友」の輪が広がった。

育児の悩み、みんなで解決

核家族化が進み、子育てなどで悩んでも周りに相談する相手がいない。友山さんは「家の中で子どもと母親が1対1でいると、どうしても「煮詰まった」状態になる」と言う。そんなときに存在感を発揮するのが、カンガルーの後援・協力団体の社協、民児協だ。年齢層の違う人の子育て経験談、育児に関する考えを聞くことで、育児ノイローゼから抜け出すきっかけをつかんだ人もいるらしい。

子どもの心をつかむ企画もある。毎月行うミニ誕生日会、毎年12月のクリスマス会、今年は七夕まつりが加わった。カンガルーの開催はツキイチ。「もっと回数を増やしてほしい」という声が聞かれるようになった。



いずれも「カンガルー」の七夕まつりで

★トピックスは裏面

あそびおこしで



「よちよちらんど」でDVDを見ながら踊る幼児とパネルシアターの上演

やっぱり楽しいイベント

そんな要望に応えようと2015年2月、「よちよちらんど」（コミセン湘南主催、推進協協力）がスタートした。子育て世代にアピール、少しでも多くの親子に来てもらおうとイベントに力を入れている。7月5日の七夕まつりでは紙芝居、8月23日にはパネルシアターの上演。パネル布を張った画面に、テープから流れるおはなしに合わせ絵を貼ったり外したするのを、夏休み中の小学生がお手伝い。見終わるとパチパチ、拍手がおきた。

好きなDVDみられるよ

10月28日の子どもコミセンまつりには、カンガルーと一緒にハロウィンパーティーを計画しているが、イベントだけではなく普段の木曜日も工夫。いつでも気軽に見られるDVDを設置、幼児に1番人気の「いないいないばあっ!」、大人も子ども大好きなアニメ「となりのトトロ」などソフトもそろえている。また今後、子育てに悩んでいる人のための相談室を開くことも検討中だ。



◆「カンガルー」開催は原則として毎月最終木曜日だが、12月は13日、来年3月は14日。「よちよちらんど」はカンガルーのないその他木曜日。カンガルーは午前9時半から、よちよちらんどは同10時から、ともに正午まで。予約は不要で、参加時間は自由。駐車スペースもあります。問い合わせはコミセン湘南事務局（TEL）0467-57-5655へ。



トピックス

「湘南地区まちぢから協議会」ホームページ

<http://shonanmachi.sakura.ne.jp/index.html> に

「コミセン湘南」のコーナーがあります

コミセンで作った夏の思い出

【8月5日 夏休み子どもイベント】わくわくらんどで「工作教室」、調理室で「親子でパン作り」。工作教室では木工機械を使ってのコマ作りと、筒のなかに刻んだ紙を入れるおなじみの万華鏡を作った。どちらもクルクル回して遊ぶ日本 伝統のおもちゃで、参加者ほとんどが 2つのコーナーを行ったり来たりの“二刀流、”で大忙し。パン作りはエプロン姿の母子が粉を練るところから挑戦。調理中は真剣なまなざしだった子ども パン職人は、ハムロール、ピザがオーブンでこんがり焼きあがると、感動の 面持ち だった。



LED効果で夏野菜が色鮮やかに 【6月14・15日、9月12・13日 料理講習会】2回ともキャッチフレーズは「野菜を食べて元気に！」。全国で40度超えの猛暑日が続出した今年の夏の前後にタイムリーなメニューは、旬野菜をレンジと蒸し器で、ナスの胡麻和え、トマトの炒め物など。また、6月11日にはコミセン湘南館内照明のLED化が完了。すっかり明るくなった調理室で、色とりどりの夏野菜が調理された。

まだまだ続く井上先生の文学講座 【6月16日、7月21日 日本文学講座】昨年12月21日に終了した文学講座の再開。これまで聴講してきた人たちの「井上先生の講座がないと寂しい」の声に、井上寿芳さんが「万葉集でやり残したものがあつたので」と受諾。大会議室から第1会議室に移った教室には、相変わらず日本文学への熱意が充満。万葉集巻20を中心に98首ある防人歌を中心に、来年1月まで“延長講座、”として行う。



わくわくらんどで♪ささの葉さらさら～

【6月28日～7月8日 七夕まつり】6月28日は「カンガルー」、7月5日は「よちよちらんど」の主催で行った。どちらも10組以上の子どもと保護者が参加。わくわくらんどで楽しく過ごした幼児は、お土産の小さなササ飾りを大事そうに持ち帰った。また、七夕まつり期間中は、小学生がそれぞれ願い事を書いた短冊をササにつるした。サッカーW杯ロシア大会中（日本はベスト16に入る健闘）だったため、「に

ほんががんばれ」「つうやくの人になれますように」。さらに「パパがちゃんと働いてくれますように」というお願いもあった。



西日本豪雨災害お見舞い

【8月4・5・11・12日 かき氷まつり】7月に220人を超す犠牲者を出した西日本豪雨。コミセン湘南では同災害支援募金のための「かき氷まつり」を実施した。1階フリースペースで当日の利用者にかき氷を無料サービスし、被災者への支援募金をお願いしたところ、4日間で2万8663円が寄せられた。コミセンでの災害支援活動は2016年の熊本地震以来で、湘南地区からのお見舞いは茅ヶ崎市社会福祉協議会の共同募金会を通じて西日本の被災者に届けられる。



「[あとがき] “記録的な、”の付く大雨、猛暑、逆走台風に続き9月6日には北海道で震度7の地震。改めて自然の脅威を感じさせられた今年の夏でした。10月28日の「子どもコミセンまつり」には、カレーライスをモリモリ食べる元気な子どもたちを見たいものです。